



# 1 コハマギク 普代の植物散歩

コハマギク (普代浜)

が咲くのは、秋の彼岸が近づくころからある。分布は堀内から黒崎までの全域になつていて、「海の家まついそ」に近い道沿い、白井漁港、力持漁港、普代北浜の岩場、太田名部への道沿い、黒崎漁港のほとり



大森竹之助さん (久慈市在住・71歳)

が主な場所である。しかし、少し海岸から離れると見られない。黒崎トネネルを過ぎて、登り坂の中ほど

あたりが限界のようである。普代浜も同じで波しぶきがかかる場所以外には見られない。人が踏みつけない道端や砂浜、ゴツゴツした岩のわずかな隙間に根を張って、たくましく成長する。厳しい自然を好むわけではないだろうが、コハマギクは他の植物が寄り付かない場所に生きていく。コハマギクによく似た、肉眼では見分けがつかない植

物に、イワギクがある。イワギクは北上山地の石灰岩の露出しているところに咲く。久慈川、長内川、安家川、小本川のうち、限られたほんの一部にしか生育しない、絶滅危惧種である。普代川はじめ普代村の川岸に、もしかしたらイワギクが生育しているのではないかと思ひ、花の時期に二、三年前から探し歩いてみたが、お目にかかるチャンスはなかった。だからといって石灰岩の岩場は、普代村にはかかっていないのだから、イワギクは生育していないと断

定はできない。いつの日か両手で花を囲って「イワギクさんこんにちは」と会いたいものである。

コハマギクの花びらは純白で、日にちがたつと薄い紫や薄紅色に変化する。純白だと思ひ込んでいる人は、種類の違う花と勘違いしてしまうことがある。花びらの数を一枚二枚と数えていくと、花によって花びらの数に違いがある。

草丈は二十センチから、中には五十センチを越すものがある。直立ではなく地を這う感じで、分岐の頂点に花が咲く。

## 村4小学校 ミニバスケットボール 交流大会 歓声を上げて 真剣に競技

九月十日、村小学校体育連盟と同教育委員会主催でミニバスケットボール交流大会が、村社会体育館を会場に村内の四小学校から五、六年生、七十一人が参加して行われました。

同大会は、村内各小学校の児童の親睦、交流を図るとともに、ミニバスケットボールの基礎的技術の向上などを目的に毎年開かれています。審判長でもある村教育委員会からの久慈孝社会教育指導を受け競技。

ミニバスケットボール交流大会では、男子、女子とも混合五チームの総当たりチームを編成。競技は、児童たちの歓声と心地よい汗の中進められました。真剣にボールを追う児童たち



真剣にボールを追う児童たち

の機敏な姿は、将来のスターを思わせるものでした。頑張れ！普代っ子たち。

前川幸恵 (堀内小) 45秒63	◇4年生男子25分自由形 ①前川海斗 (堀内小) 30秒84 (出場者一人) ◇5年生女子25分自由形 ①野田口祐香 (普代小) 22秒73 ②藤島晶 (堀内小) 24秒38 ③金子望 (鳥茂渡小) 28秒76 ◇5年生男子25分自由形 ①松葉智哉 (普代小) 31秒72 ②澤口卓弥 (鳥茂渡小) 32秒53 (出場者二人) ◇6年生女子25分自由形 ①中田未来莉 (普代小) 22秒80 ②越戸綾香 (同) 23秒82 ◇6年生男子25分自由形 ①坂上耕陽 (堀内小) 25秒25 ②戸田和総 (同) 26秒12
◇2年生男子25分ビート板キツクの部 ①中上圭秀 (堀内小) 45秒65 ②赤坂真彦 (同) 52秒44 ③坂上芳輝 (同) 1分03秒65 ◇3年生以下女子25分自由形 ①越戸菜摘 (普代小三年) 40秒07 (出場者一人) ◇3年生以下男子25分自由形 ①中村駿人 (普代小三年) 40秒92 ②松葉直己 (同二年) 44秒47 ③熊谷勝利 (同三年) 51秒81 ◇4年生女子25分自由形 ①中田千翔 (堀内小) 29秒77 (出場者一人)	